

# 令和6年度 看護職の定着確保動向調査結果 — 求職者対象 —

## I. 調査概要

調査目的	離職中の看護職の就業意向や希望する勤務条件等を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る
調査対象	千葉県ナースセンターに登録の「就職活動をしている」未就業看護職
調査時期	令和6年5月10日 ~ 令和6年5月31日
調査方法	調査依頼をメールと郵便ハガキにて案内し、千葉県看護協会ホームページのアンケート機能を活用したWeb調査
回収状況	配布数 : 185 名 回答数 : 28 名 回答率 : 15.1%

## II. 調査結果

### 1. ブランク期間

ブランク期間は、「0～3年」の71.4%が最も多く、次いで「6～10年」17.9%、「4～5年」7.1%の順であった。

<表1> ブランク期間 (n= 28)

0～3年	4～5年	6～10年	11年以上	無回答
20	2	5	0	1
71.4%	7.1%	17.9%	0.0%	3.6%

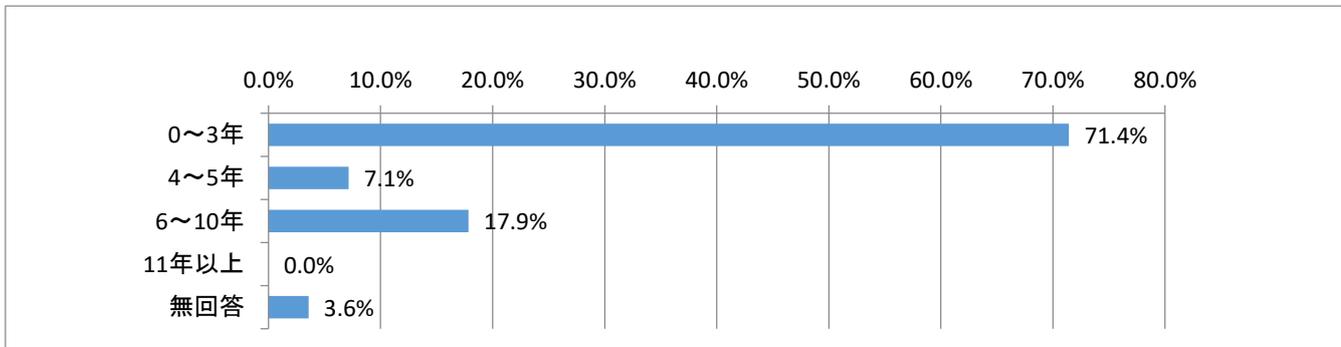


図1 ブランク期間

### 2. 居住地区

居住地区は、「千葉地区」が25.0%で最も多く、次いで「東葛地区」17.9%、「船橋地区」14.3%の順であった。

<表2> 住所 (n= 28)

千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛
7	2	4	3	2	5
25.0%	7.1%	14.3%	10.7%	7.1%	17.9%

印旛	利根	山武	長夷	君津	安房	県外
2	1	1	0	0	1	0
7.1%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%



図2 回答者 居住地区

### 3.年齢

年齢は、「40代」が32.1%と最も多く、次いで「30代」25.0%、「50代」17.9%の順であった。

<表3> 年齢

(n=28)

20代	30代	40代	50代	60代	70代
3	7	9	5	4	0
10.7%	25.0%	32.1%	17.9%	14.3%	0.0%

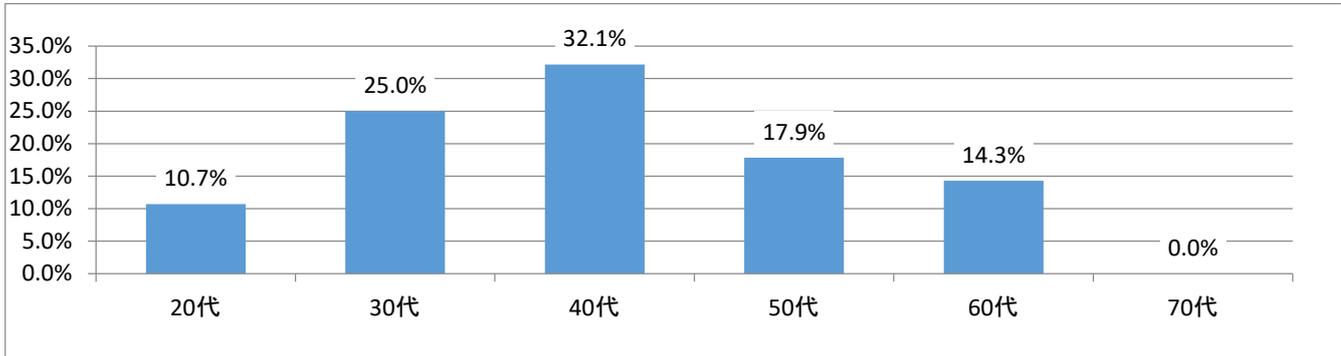


図3 年齢

### 4.離職時の職種

離職時の職種は、「看護師」が最も多く78.6%、次いで「准看護師」17.9%、「助産師」3.6%の順であった。

<表4> 離職時の職種 (n=28)

保健師	助産師	看護師	准看護師
0	1	22	5
0.0%	3.6%	78.6%	17.9%

### 5.離職時の雇用形態

離職時の雇用形態は、「正規職員」が最も多く64.3%、次いで「非常勤職員」25.0%、「派遣」10.7%の順であった。

<表5> 離職時の雇用形態 (n=28)

正規職員	非常勤職員	派遣
18	7	3
64.3%	25.0%	10.7%

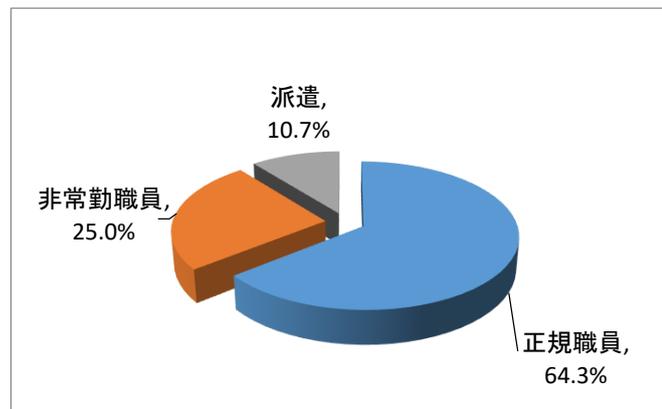


図4 離職時の雇用形態

### 6.離職時の勤務形態

離職時の勤務形態は「日勤のみ」が最も多く57.1%、次いで「二交代制」が25.0%、同率で「三交代制」「短時間勤務」7.1%の順であった。

<表6> 離職時の勤務形態 (n=28)

日勤のみ	三交代制	二交代制	短時間勤務	夜勤のみ
16	2	7	2	1
57.1%	7.1%	25.0%	7.1%	3.6%

## 7.看護業務の通算勤務年数

看護業務の通算勤務年数は、「1年未満」が最も多く25.0%、次いで「15～19年」21.4%、「1～3年」14.3%の順であった。

<表7> 看護業務の通算勤務年数 (n= 28)

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上
7	4	3	3	2	6	3
25.0%	14.3%	10.7%	10.7%	7.1%	21.4%	10.7%

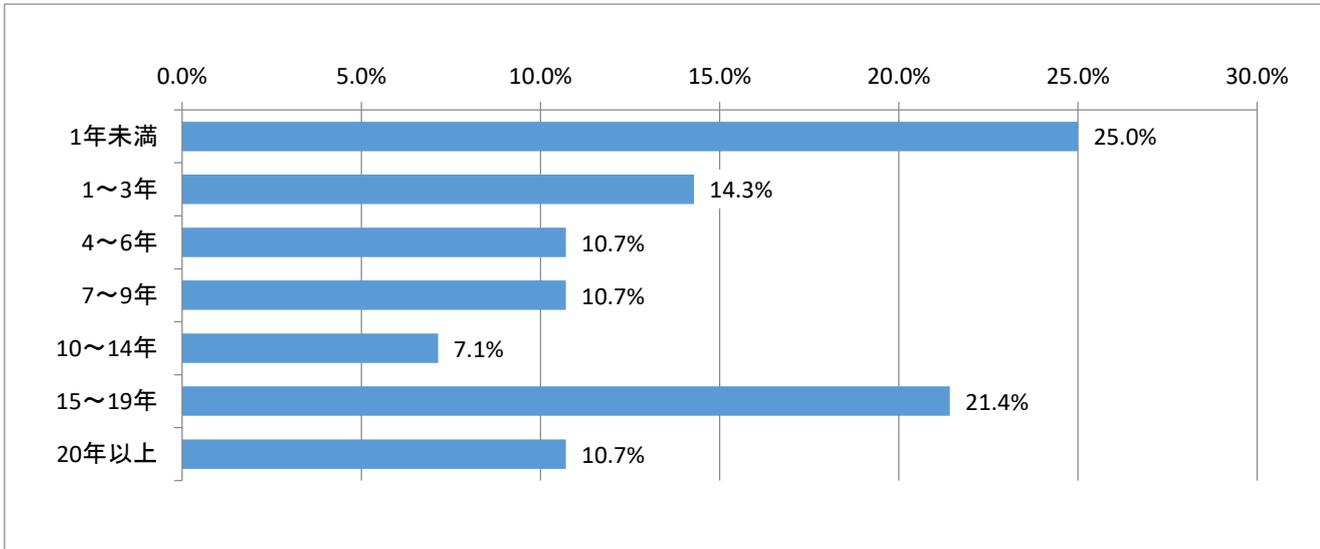


図5 通算勤務年数

## 8.離職直前の施設での勤務年数

離職直前の施設での勤務年数は、同率で「1年未満」「1～3年」が最も多く35.7%、次いで「4～6年」14.3%、「7～9年」7.1%の順であった。

<表8> 離職直前の施設での勤務年数 (n= 28)

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上
10	10	4	2	0	1	1
35.7%	35.7%	14.3%	7.1%	0.0%	3.6%	3.6%

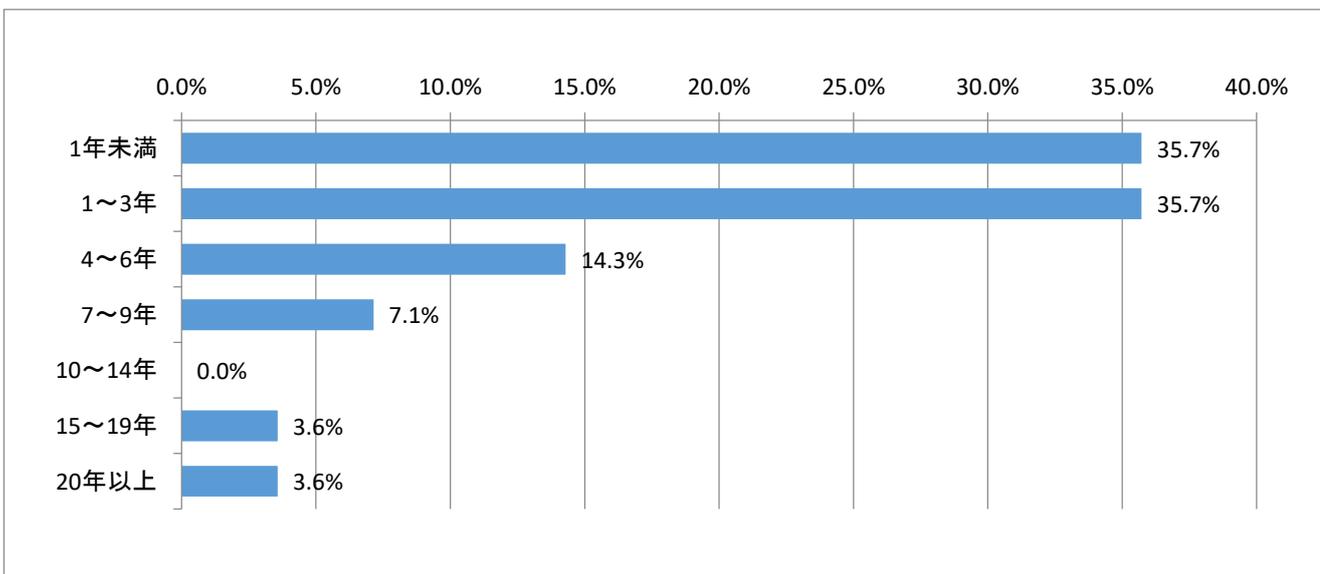


図6 離職直前の施設での勤務年数

## 9.離職時の施設種別

離職時の施設種別は、「病院」57.1%が最も多く、次いで「診療所・クリニック」17.9%、次いで「介護福祉施設」7.1%であった。

<表9> 離職時の施設種別 (n=28)

病院	診療所・クリニック	介護福祉施設	訪問看護ステーション	公的機関	その他
16	5	2	1	1	3
57.1%	17.9%	7.1%	3.6%	3.6%	10.7%

その他

・新型コロナオペレーター、ワクチン接種、地域包括支援センター

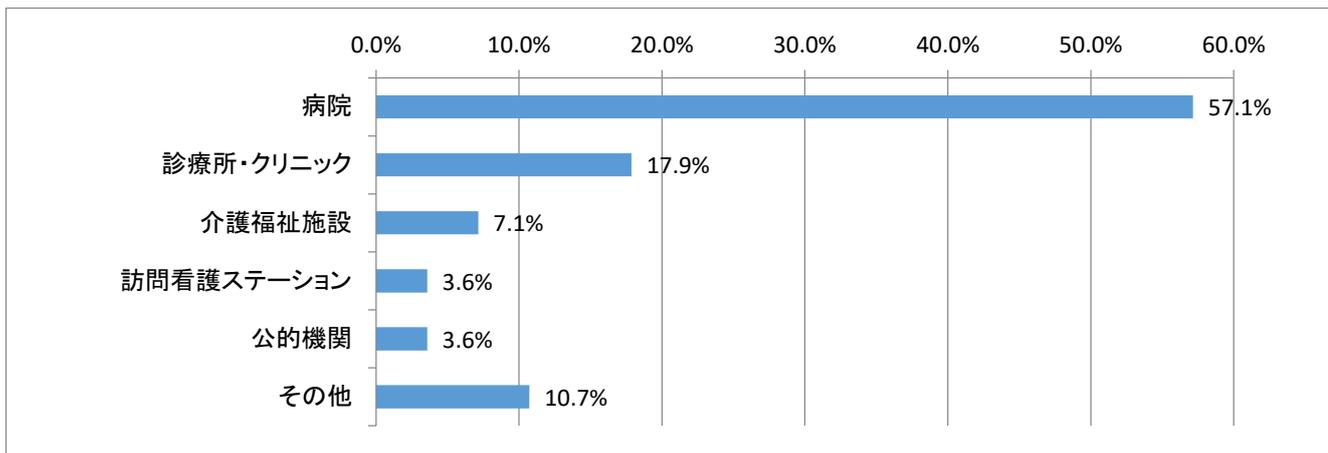


図7 離職時の施設種別

## 10.離職理由(複数回答)

離職理由は、「人間関係」が最も多く50.0%、次いで「健康上の理由」25.0%、次いで「ハラスメント」17.9%の順であった。

<表10> 離職理由(複数回答・3つまで) (n=28)

人間関係	健康上の理由	ハラスメント	出産育児 子供のため	業務量が多い	看護内容への不満	自分の適正 能力への不安	配偶者の 転勤	結婚	老親の世 話・家族の 介護
14	7	5	4	4	2	2	2	2	2
50.0%	25.0%	17.9%	14.3%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%
家事と両立 しない	転居	休みがとれ ない	賃金への不 満	契約期間 満了	進学	教育体制が 不十分	時間外勤務 が多い	時間外手当 が貰えない	夜勤が負担
2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
7.1%	7.1%	7.1%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%
定年退職	福利厚生が 十分でない	通勤困難	他分野への 興味	Uターンの ため	その他				
0	0	0	0	0	3				
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.7%				

<その他>

・病院の倒産  
・職場の閉院  
・看護師業務外の仕事が常習化

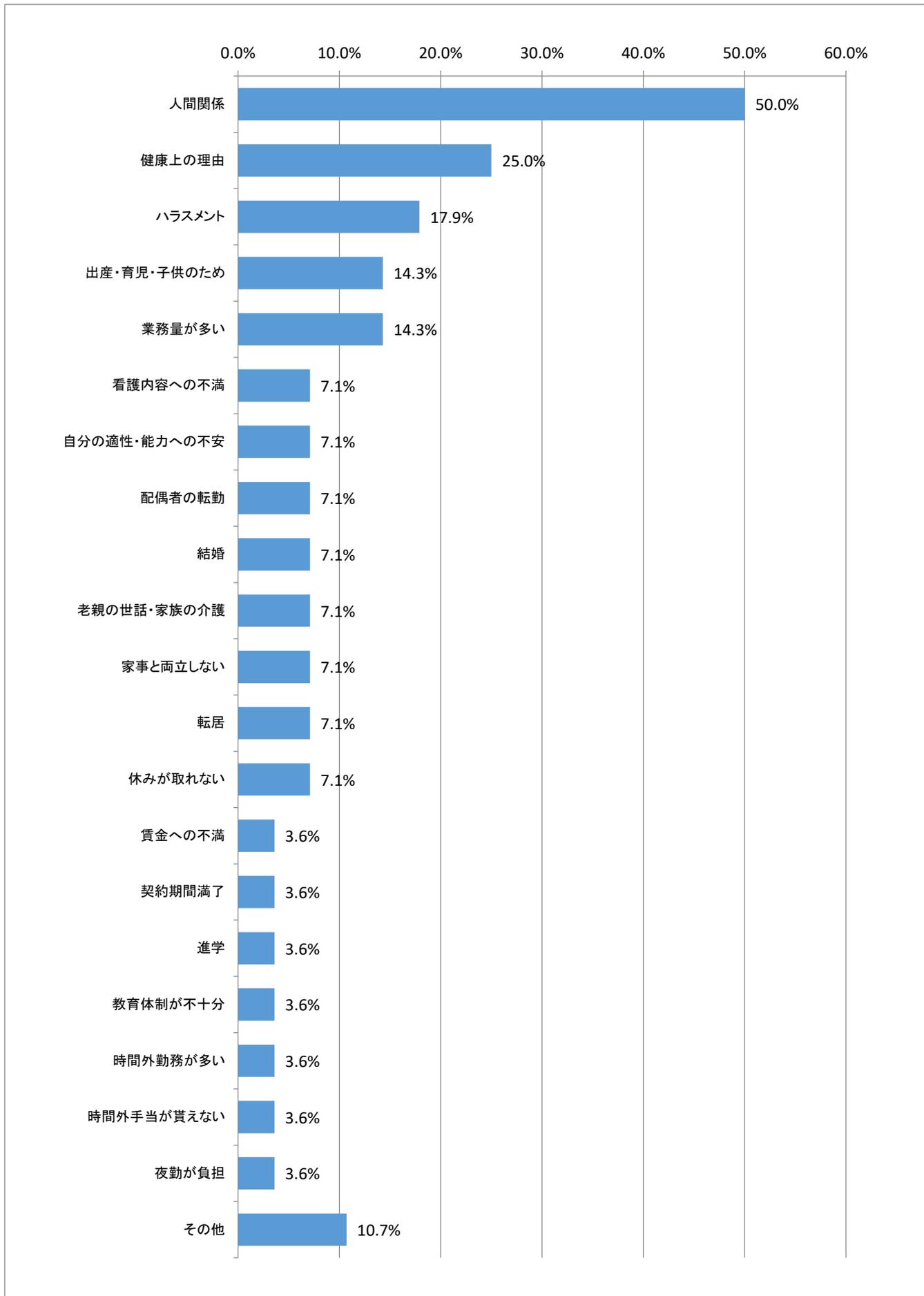


図8 離職理由

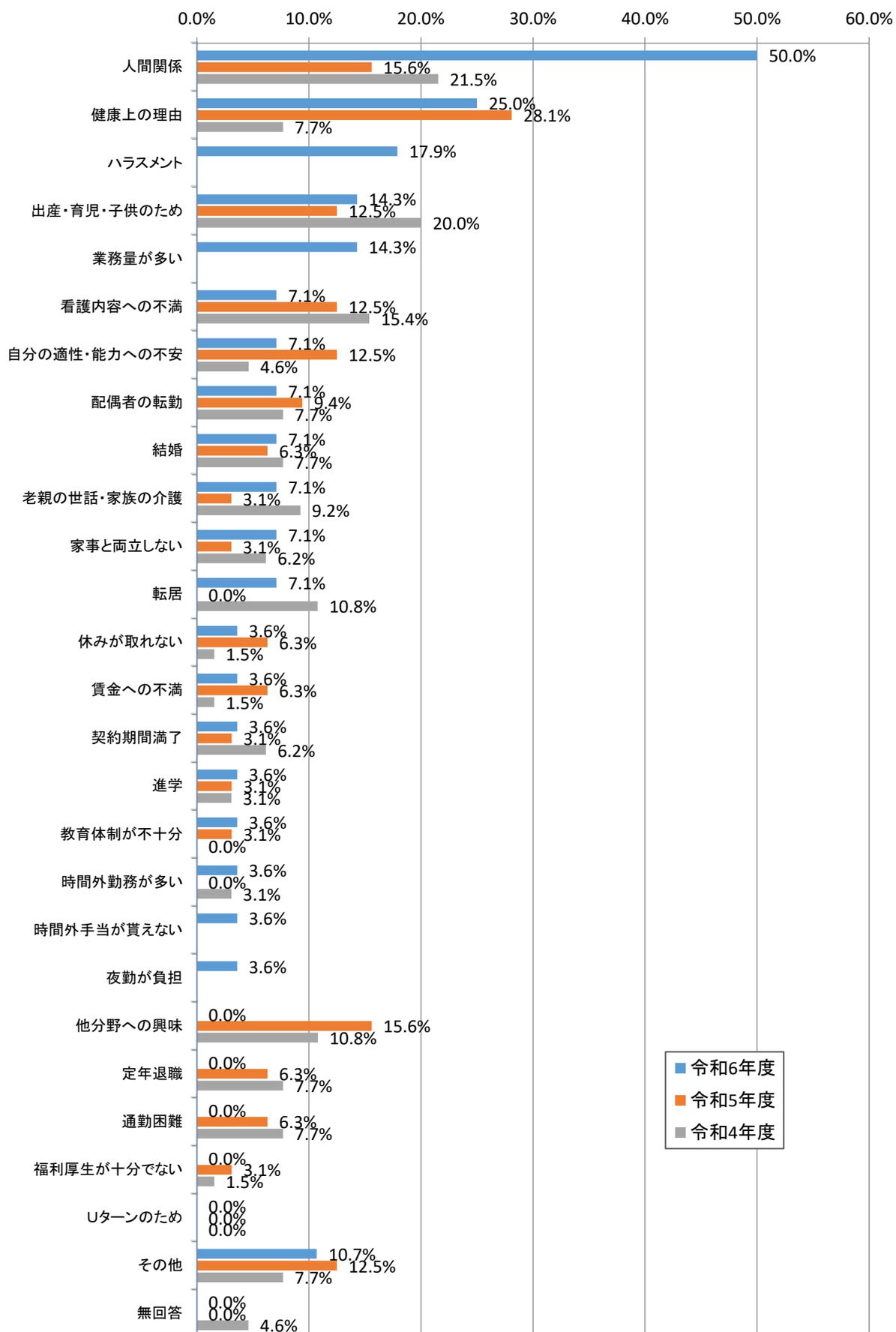


図9 離職理由(3年推移)

### 11.人間関係が難しかった相手（問10で選択）

人間関係が難しかった相手を探ねると、「師長等中間管理職」が最も多く64.3%、次いで「先輩」42.9%、次いで同率で「同僚」「看護管理者」28.6%であった。

<表11> 人間関係が難しかった相手（複数回答） (n=14)

師長等中間管理職	先輩	同僚	看護管理者	他の専門職	一般職員	医師	患者	その他
9	6	4	4	3	2	1	1	1
64.3%	42.9%	28.6%	28.6%	21.4%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%

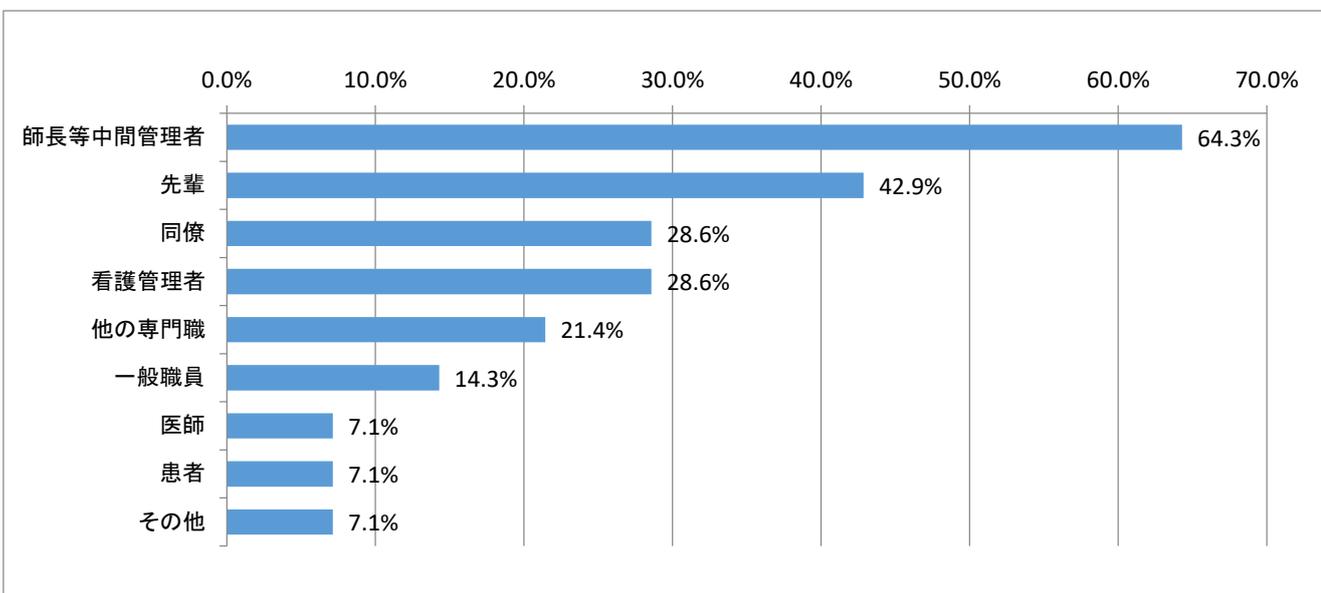


図10 人間関係が難しかった相手

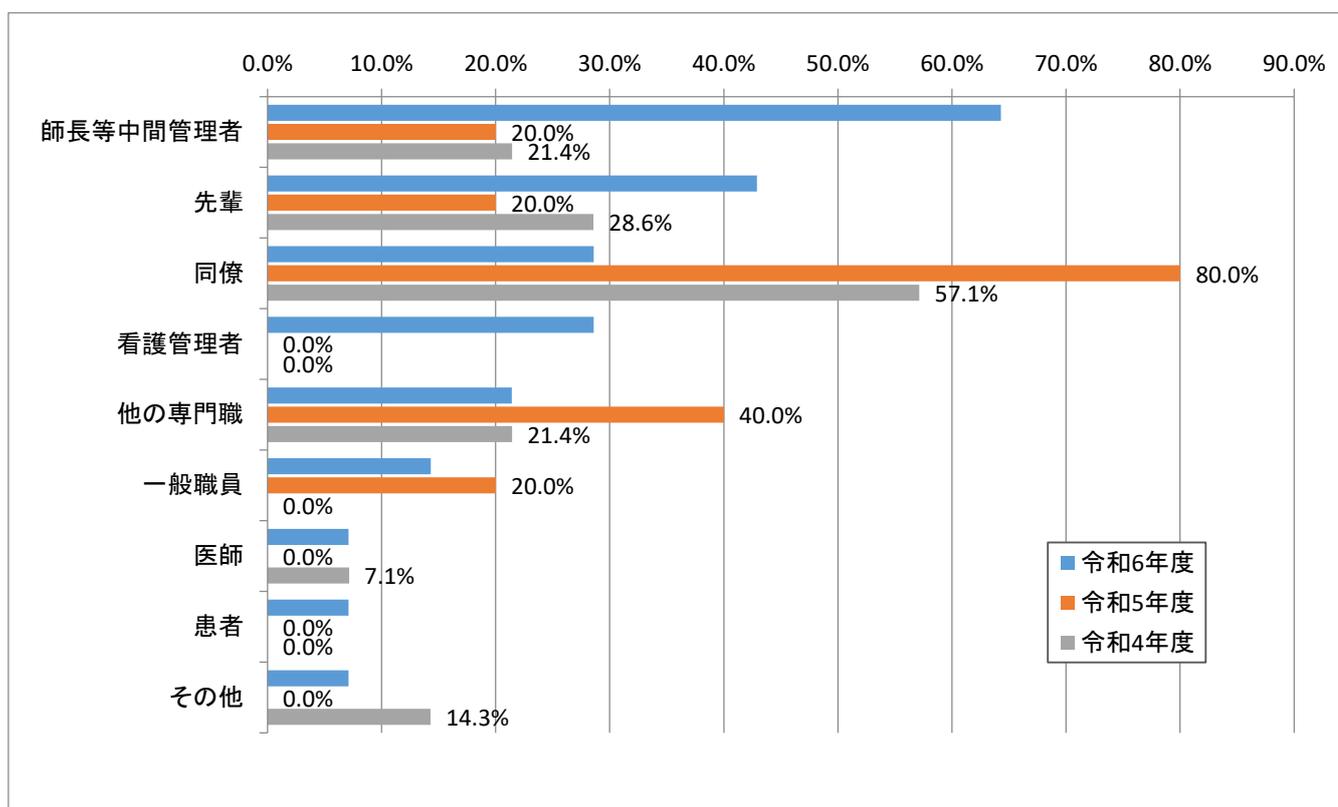


図11 人間関係が難しかった相手(3年推移)

## 12.「看護内容への不満」の具体的理由（問10で選択）

離職理由を「看護内容への不満」と回答した2名の具体的理由は、「看護業務以外の仕事が多い」「医療処置が多い」「患者とのコミュニケーションの時間がとれない」がそれぞれ1件ずつだった。

## 13.「賃金への不満」の具体的金額（問10で選択）

「賃金への不満」は1名回答し、現在の時給1,250円だが、希望する時給は2,500円だった。

## 14.就業条件（複数回答）

就業条件は、同率で「休みがとりやすい」「希望する時間帯の勤務」が最も多く46.4%、次いで同率で「通勤に便利な職場」「残業がない（定時に帰宅できる）」が21.4%、次いで「自分の希望する給与」17.9%だった。

<表12> 就業条件(複数回答・主な要件3つまで) (n=28)

休みがとりやすい	希望する時間帯の勤務	通勤に便利な職場	残業がない(定時に帰宅できる)	自分の希望する給与	夜勤がない	家族の支援・同意がある	柔軟な勤務形態	希望する看護領域	育児制度が利用できる
13	13	6	6	5	4	3	3	2	2
46.4%	46.4%	21.4%	21.4%	17.9%	14.3%	10.7%	10.7%	7.1%	7.1%

院内保育所があり利用可能(夜間保育含)	自分の能力が活かせる	教育体制が充実している	看護内容が充実	夜勤回数が少ない	介護休暇がとれる	資格取得支援がある	その他
2	1	1	1	1	0	0	6
7.1%	3.6%	3.6%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	21.4%

### その他

- ・ 優しい人間関係の職場
- ・ 人間関係が良ければ続けることが可能
- ・ 看護職を続けようと思える、他者を思いやれる人間関係があれば
- ・ 安心して働ける人間関係
- ・ 年収450万以上

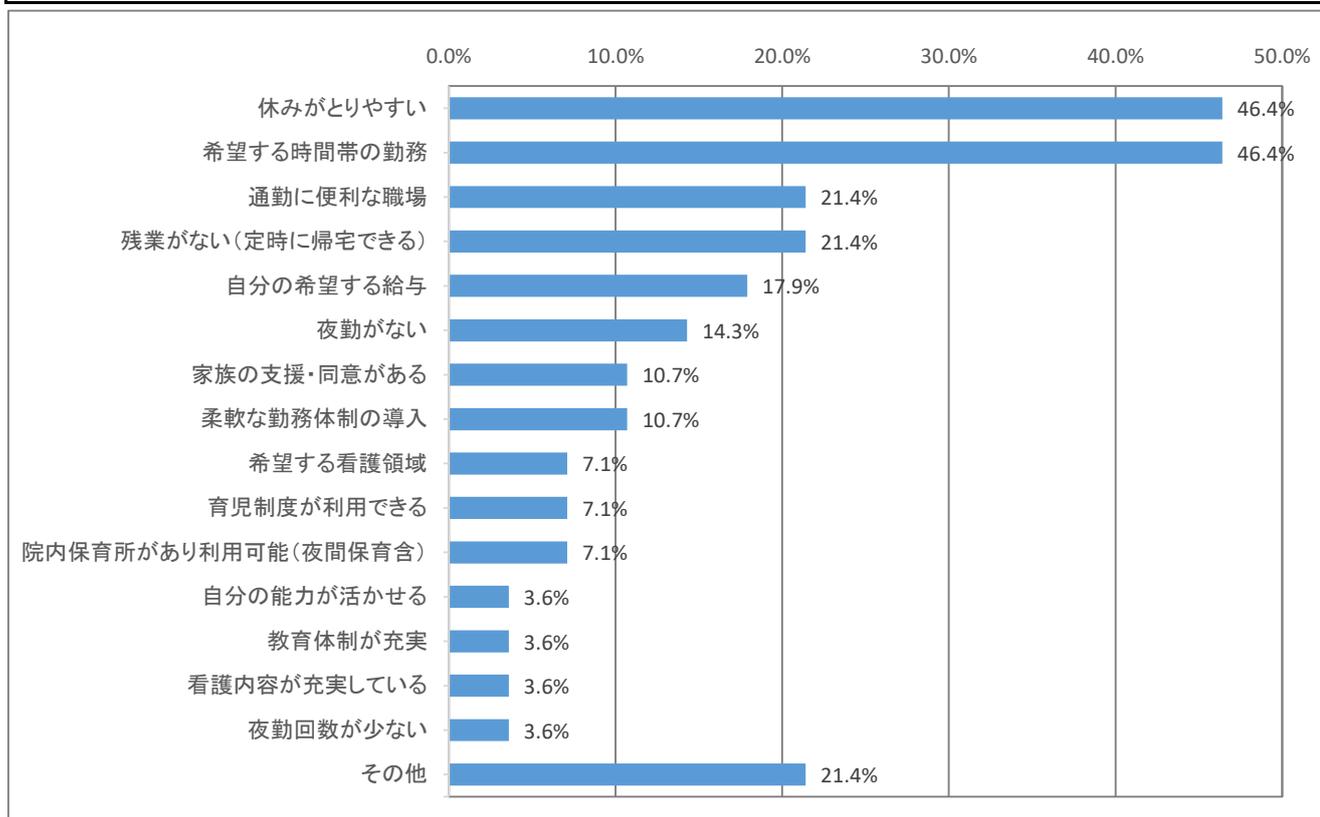


図12 就業条件

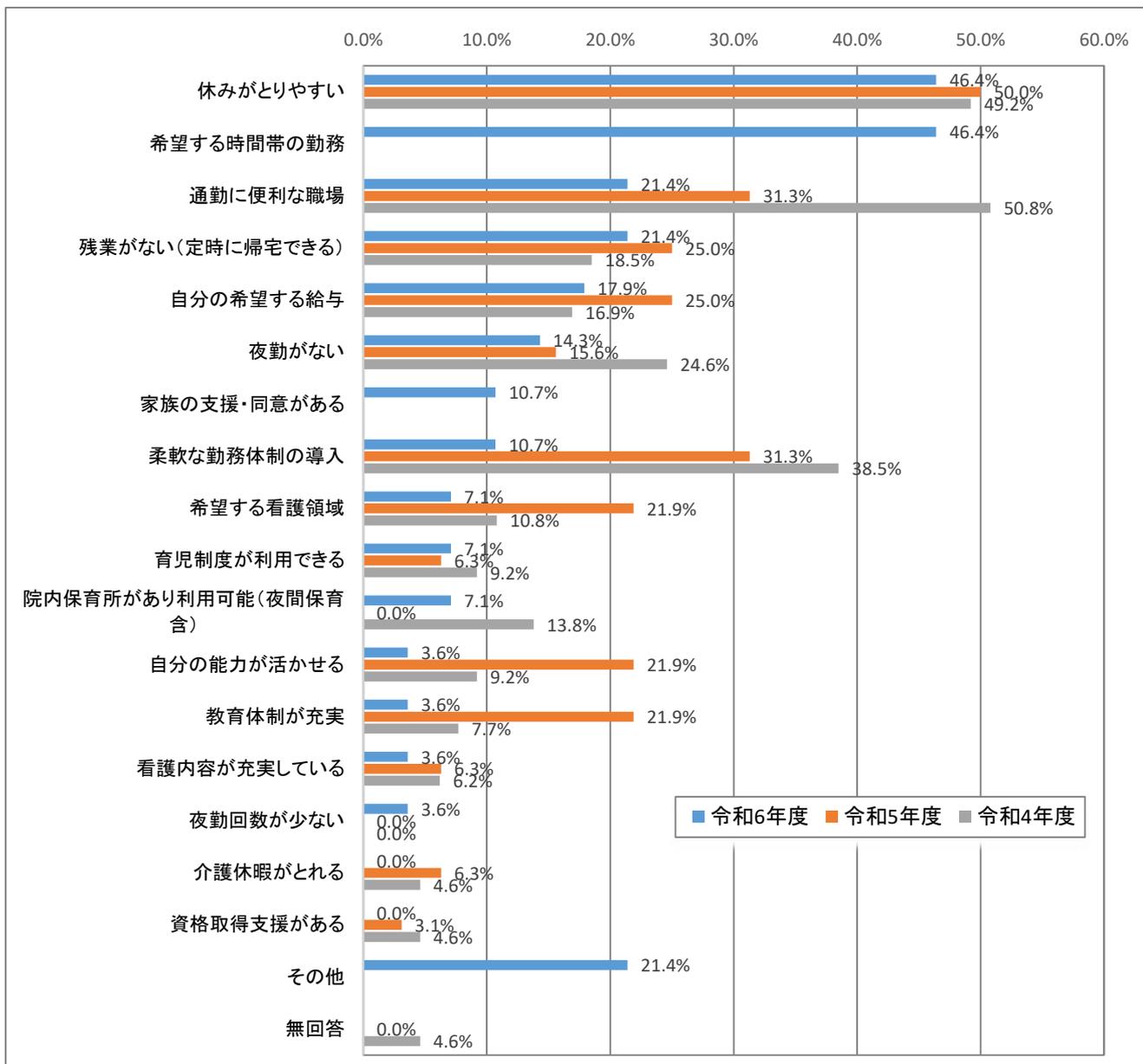


図13 就業条件(3年推移)

### 15.就職する際の希望の雇用形態

就職する際の希望の雇用形態は、「正職員」が最も多く57.1%、次いで「非常勤職員」32.1%、「派遣」10.7%の順であった。

<表13> 再就職時の希望雇用形態 (n=28)

正規職員	非常勤職員	派遣	無回答
16	9	3	0
57.1%	32.1%	10.7%	0.0%

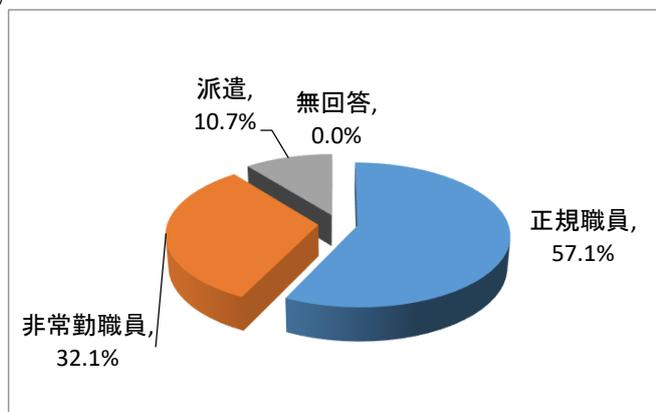


図14 再就職時の希望雇用形態

## 16.就業希望先の施設種別（複数回答）

就職する際の希望施設種別は、「診療所・クリニック」が最も多く46.4%、次いで同率で、「介護福祉施設」「企業」28.6%、次いで「病院（病棟）」25.0%の順であった。

<表14> 就業希望先の施設種別

(n= 28)

診療所・クリニック	介護福祉施設	企業	病院（病棟）	病院（外来）	公的機関	幼稚園・保育園	特別支援学校	学校・大学等教育機関	訪問看護ステーション
13	8	8	7	6	5	4	3	2	2
46.4%	28.6%	28.6%	25.0%	21.4%	17.9%	14.3%	10.7%	7.1%	7.1%
その他									
5									
17.9%									

### その他

- ・ 健診センター
- ・ 人間関係が良ければどんな職場でも
- ・ 勤務条件によって色々変わってくると思う
- ・ イベントや試験会場での救護室

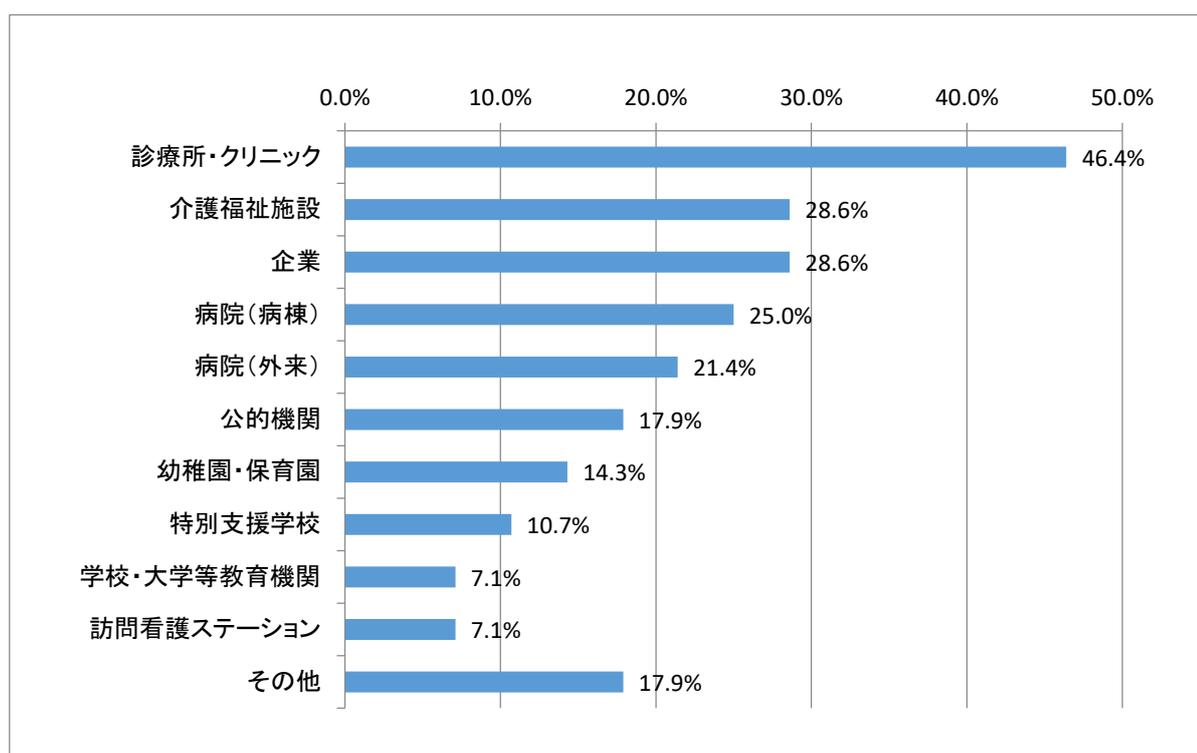


図15 就業希望先の施設種別

## 17.再就業に向けて希望する研修

再就業に向けてどのような研修を希望するか自由記載で問うたところ、3件の回答があった。

- ・ 病院施設見学会、基礎看護技術の研修
- ・ 手技練習
- ・ 他者を思いやれる人間関係の研修